

# しず老施協

## 巻頭言



## 東部支部長として思うこと

県老施協副会長（東部支部長） 奥津匡俊

（社会福祉法人信愛会理事長）

新型コロナウイルス変異種のデルタ株が世界中を席卷し、また異常気象による洪水等の被害が世界中で勃発しました。

我が国も全国的に新型コロナが蔓延し、医療体制が緊迫して首都圏中心に緊急事態宣言が発令され、8月20日からは静岡県も対象地区となりました。

また7月豪雨では、東部の熱海市伊豆山で大規模な土石流が発生し、報道の凄まじい映像は驚愕するばかりです。亡くなられた方のご冥福や行方不明の方の早期発見と共に、被災者の一日も早い安寧を祈念いたします。

幸い静岡県老施協東部支部の施設では直接の人的被害は無く、インフラや道路遮断での運営上の被害は、復旧に時間を要したもののやっと通常を取戻しました。

静岡県老施協の新型コロナのクラスター発生施設への応援派遣事業や、熱海市の被災者支援で県社協のDWATへ応援派遣をしていただいた施設や職員の皆様には、人手不足の苦しい中で大変ご苦勞様でございました。

さて、一年延期された東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナ感染症拡大や病床逼迫の中で開催され、関係者と報道のみの異例な開会式や大会運営への批判は、組織委員長の交代はじめ直前までの楽曲や演出担当が過去の言動・スキャンダルで辞職や解任さ

れるなどが続出し、国民の行き場の無い苛立ちや閉塞感が「こんなんでいいのか」というネガティブな感情となって、政府や大会関係者へ、またコロナ禍での開催の批判となって、我が国を覆い世界中で注目を集める結果となりました。

そんな中で東京五輪が開催され、我が国は史上最多のメダルラッシュとなり、また、コロナ禍の中で困難を乗り越えて世界中から参加したオリンピック・パラリンピアン  
の勇氣ある姿や競技、スタッフやボランティアの懸命な支援の姿に大変感銘を受けました。

コロナ禍は、私たちの生活や活動の変容を急速に進ませ、様々なレベルで激変が加速されそうです。しかし、慣れ親しんだ日常や私達の行動はそう簡単に変わりません。

コロナ禍の施設運営や職員、ご利用者の生活上の制限など、なかなか出口の見えない困難の中にありますが、こんな時だからこそ、行政・医療・学校を始め私達老人福祉等の公益事業への信頼はますます重要となります。

静岡県老施協は会員施設の相互の信頼と絆を深め、関係機関と協力して目の前の様々な課題にオリンピック・パラリンピアン  
の様に、勇氣と将来の希望を持って前進する事が大切だと考えます。

# 変わりゆく避難所と心



特別養護老人ホームさぎの宮寮  
施設長 高杉 威一郎

令和3年7月3日10時30分頃発生した、静岡県熱海市伊豆山地区の豪雨災害によって被災された方々に心中よりお見舞い申し上げます。

私は、静岡県災害派遣福祉チーム（DWAT）第7クールとして、令和3年7月28日～7月30日の3日間、熱海市豪雨災害で被災された方々の避難所における福祉的支援を行ってまいりました。

私が所属することになった第7クールは、高齢福祉施設の職員2名、障害福祉施設の職員2名、児童福祉施設の職員1名、合計5名で編成された総合的な福祉サービスの提供が実現できるドリームチームでした。

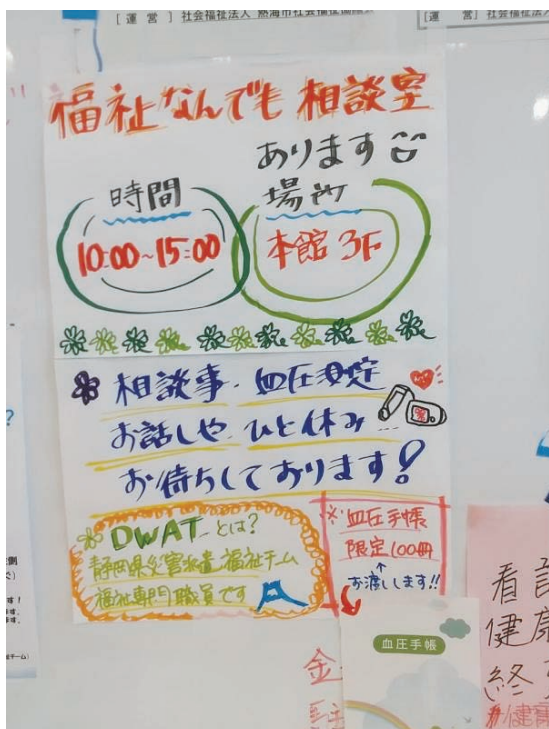
第7クール期間の避難所は2か所で運営されており、7月20日の利用状況（DWAT調べ）は、金城館に約150名、ウオミサキホテルに約220名が避難されていま

した。合計約370名の内、40名（各避難所約20名）の方を中心に、静岡県保健師チーム、DMAT、JRAT、日赤こころのケア、看護協会などの合同チームにより福祉的支援を実施しました。

一日の流れとしては、9時15分から始まる全体ミーティングにて情報共有。午前・午後に実施する保健師・DMAT・JRAT等との合同チームによる訪問調査。DWAT主催で行う、フレイル等の予防、気分転換を目的とした健康体操。また、必要な方へは個別支援を実施しました。

訪問調査中に担当した世帯では、親族をこの災害で失い、様々な感情を抱える家族の聞き取り調査を実施しました。支援者として適切な言葉は見つからず、ただ溢れ出す感情に頷くことしかできませんでした。

個別支援では、一人暮らし高齢男性の病院同行を担当させていただきました。被災後に、腹部の異変と血圧の上昇により病院受診が必要と判断され精密検査を行い、その検査結果を担当医師から聞き取り、保健師



避難所ホワイトボードのお知らせ



被災者支援の様子





全体ミーティングの様子

チームへ報告する支援を行いました。避難所から徒歩10分程の病院へ転倒に気を付け歩行していく。実際は支援した男性の方が健脚であり、息を切らすことなく歩行することができました。病院の待合室では、支援した男性の方が被災についての感情と、これからの見通しについて話してくださいました。

第7クールは、被災者の生活フェーズが変わろうとしている時期であり、3日間という短い派遣期間中に被災者の生活再建に向けた意向調査を実施することが決定し、新たな調査用紙を手に意向調査も実施できました。

7月30日、金城館で実施された熱海市による説明会。8月6日に閉鎖となるウオミサキホテルの被災者の住まいの問題。7月末に撤退が決まった、看護協会・DMAT・JRATなどの各種団体との引継ぎ。

災害時ボランティア受け入れ手引きによると、被災後に、現状と予想される課題として4つのフェーズがあり、Ⅰ災害発生直後の救命と避難。Ⅱ避難所生活の居場所の確保、安否確認、レクリエーション。Ⅲ仮設住宅生活への引っ越し、孤立防止等。Ⅳ復興住宅生活。第7クールは、フェーズⅡからフェーズⅢへの移行期でした。誰かに身の上話しや、不安、今後の見通しを



避難所での健康体操

聴いてほしいことに対する支援。まさに、個別支援をさせていただいた高齢男性が必要としていた支援でした。

多くの方と出会い、激変した生活環境を日々想い、変わりゆく避難所の生活環境と心の葛藤に直面する人々の心に寄り添うことが福祉的支援と学びました。

引き続きDWATと情報共有をさせていただき、被災地支援に向けた取り組みを検討してまいりたいと考えます。

最後になりますが、第1クールから最終クールまで派遣されたDWATの方々のバトンが丁寧につながり、適切な支援が継続されております。第7クールの皆様には大変お世話になりました。各種団体の方々、オール静岡の力を肌で感じました。そして、静岡県社会福祉協議会担当者の皆様のご尽力によりDWATとして福祉的支援が遂行できていると存じます。重ねてお礼申し上げます。

熱海市伊豆山地区の早期の復興を心よりお祈り申し上げます。

## 原子力災害時における社会福祉施設等の避難への取組み



県危機管理部  
原子力安全対策課長

神村 典浩

本県の御前崎市には中部電力株式会社浜岡原子力発電所が立地しており、静岡県では、県民の安全と安心を守るために、国、市町などと連携しながら、原子力防災対策の取組みを進めています。万が一、浜岡原子力発電所において、原子力災害が起きた場合の対応について、本県が定めている広域避難計画の概要や社会福祉施設等の避難計画策定に向けた取組等についてご説明します。

### ・「原子力災害対策を重点的に行う地域はどこですか？」

平成23年3月11日の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、広い範囲に影響を及ぼす原子力災害が発生し、原子力発電所の周辺の住民が、放射性物質からの影響を避けるために広域に避難をする事態となりました。その際に得られた教訓を踏まえ、国が定める防災基本計画や原子力災害対策指針により、全国各地の原子力発電所から概ね半径30km圏内の自治

体に対して、避難の仕組みや、どこに避難をするのかをあらかじめ定めておき、いざ災害が発生した際に住民が迅速に行動できるようにするために、広域避難計画の策定が義務付けられました。

これにより、静岡県と、浜岡原子力発電所周辺の御前崎市、牧之原市、菊川市、掛川市、吉田町、袋井市、焼津市、藤枝市、島田市、森町、磐田市が、広域避難計画の策定に取り組んでいます。(図1)

### ・「原子力災害時、どんな時に避難したら良いのか？」

お住まいの場所や事故の状況に応じて、とっていた行動が異なります。

発電所に近い、概ね5km圏(PAZ)にお住まいの方には、放射性物質が放出される前の「全面緊急事態」において全域に避難指示が出され、概ね5km~31km圏内(UPZ)にお住まいの方には、屋内にとどまるよう指示が出されます。さらに、UPZにおいては、放射性

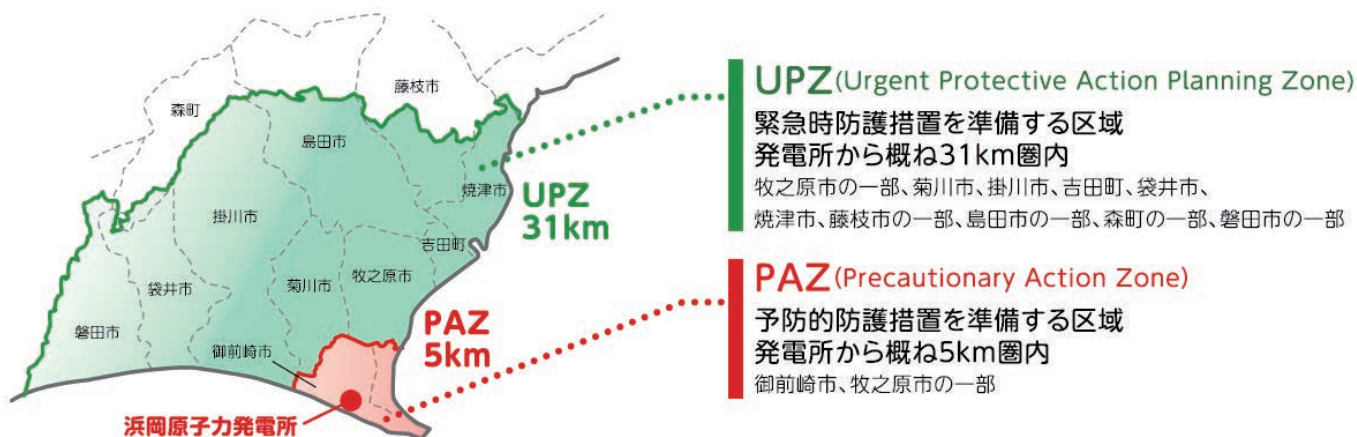


図1

物質の放出後に、空間放射線量を測定した値が基準値を超えた区域に対して、避難単位（UPZ内の10市町を88区分）ごとに避難などの指示が出されます。図2のポンチ絵に示しますが、より詳しい情報は、静岡県原子力安全対策課のホームページや文末の静岡県原子力防災ポータルサイトなどにより確認できます。

・「社会福祉施設等はどうに避難をするのか」

PAZ、UPZ内にある社会福祉施設等についても、原子力災害が発生した際に、避難指示が出された場合には、避難等を行う必要があります。その際、入所する方等を適切に搬送する体制が整ってから、避難等を行うことになります。

避難等をスムーズに行うために、社会福祉施設等においても、あらかじめ個別に避難計画を策定しておく必要があります。

・「社会福祉施設等の避難計画はどのように策定するのか？」

静岡県地域防災計画により、浜岡原子力発電所から概ね31km圏内に位置する社会福祉施設等の施設管理者が原子力災害時の避難計画を策定するものとしております。県は、計画の策定を支援するため、令和2年度より、社会福祉施設等の避難計画策定のためのガイドライン作りに取り組んでおり、実態に即した内容とするため、いくつかの社会福祉施設の施設管理者の方々にも参加いただきワーキンググループを構成して検討を進めており、今年度中の完成を目指しています。

社会福祉施設等の避難計画の策定について、各施設の皆様には今後ご協力をお願いさせていただくこととなりますが、どうぞよろしく願いいたします。



静岡県原子力防災ポータル QRコード

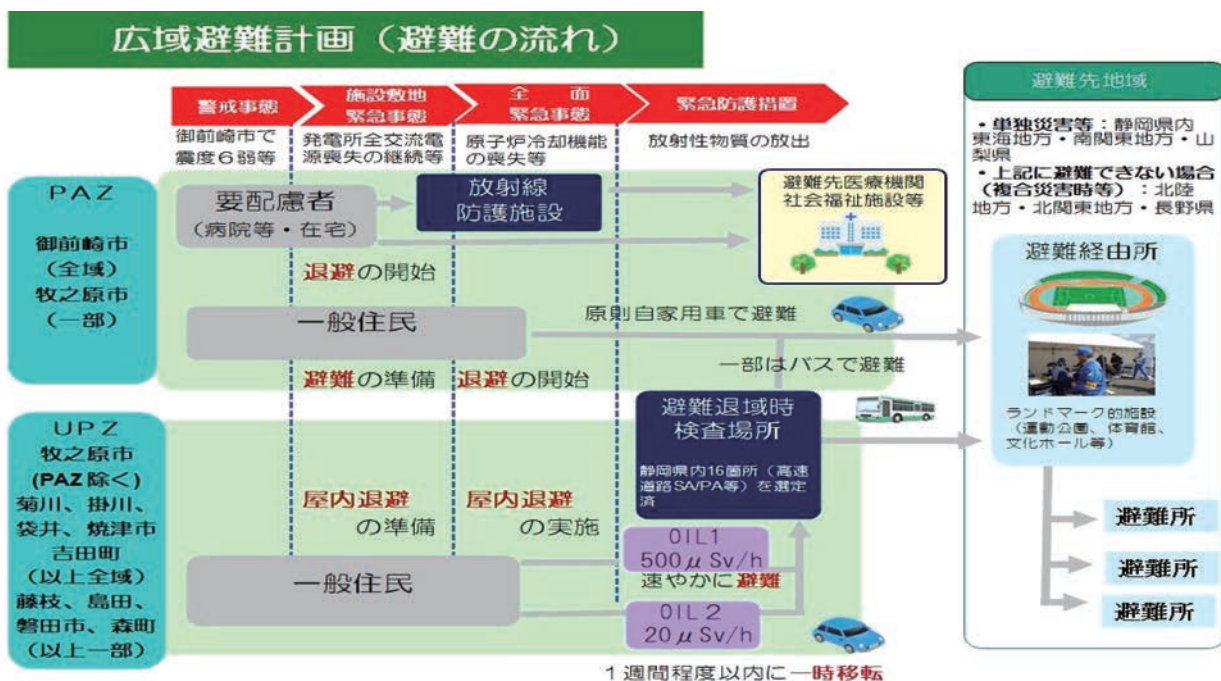


図2



## マスコットキャラクターの活躍



特別養護老人ホームこもれび  
施設長 池田 達哉

数年前まで「ゆるキャラブーム」があり、施設にもマスコットキャラクターがいたら面白いねという軽い気持ちから始まった企画。そのキャラクターが今では様々な方に施設の魅力を伝える施設の顔となりました。参考になるか分かりませんが、ユニークな取組みの一つとして読んで頂けたら幸いです。



こもびー

どんなキャラクターにしようか？それを考えることもイベントにして楽しもうと、ご利用者様、そのご家族様、地域の子供たち、職員やその家族まで、施設内外に広く募集したところ、110作品ものご応募を頂きました。そこから「キャラクター総選挙！」を行い、第1位を勝ち取った「こもびー」に決定しました。ちなみに考案者は入居者様のご家族様です。

当初は1パターンのイラストのみでしたが、その後にデザインの専門学校様とご縁により、様々なポーズ、様々なタッチのキャラクターが増えていきました。

### ○活用例＜施設内資料・掲示物＞

施設内で使用するマニュアルや研修資料、掲示物などの挿絵として、よくイラストを使います。活字ばか

りで敬遠されがちな資料も見やすく工夫することで、色んなことが周知しやすくなりました。職員も自由に委員会などで活用しています。



見やすい、分かりやすい資料づくり



飛沫防止の亚克力板でも活躍



外部の方だけでなく職員にも喜ばれます

## ○活用例<ノベルティグッズ>

キャラクターをプリントしたクリアファイルには、施設のパンフレットなどを挟んでお客様や求職者などに配布しています。コップやトートバックなど、今はインターネットで何でも気軽に作成できるので、イベントで配布したり、職員への記念品にしたりしています。

## ○活用例<採用ブース・採用ツール>

就職ガイダンスなどにブースを出しても求職者を集めるのに苦労しますが、キャラクターを取り入れたブースで、少しでも気軽に立ち寄ってもらえるように努めています。



ブースに来てくれる方が増えました

## ○活用例<ホームページ・SNS>

キャラクターが一番活躍しているのがホームページや各種SNSです。どちらも求職者を意識していて、ホームページはキャラクターが施設を紹介するページがあったり、施設の様子を4コマ漫画で伝えたりしています。SNSもキャラクターが施設の様子をつぶやきまくるツイッターをはじめ、インスタグラム、フェイスブック、youtubeなど、どれもキャラクターが関わることによって、より楽しく、気軽に見て頂けているのではと感じます。



特別養護老人ホームこもれび  
@t\_komorebi

ボクたちは静岡市清水区にある特別養護老人ホームこもれびを温かく見守る森の妖精「こもびー」と「よっしー」★こもれびの魅力をツブヤキマクルビー

こもびーが施設の様子をつぶやきます



日常を4コマ漫画で楽しく紹介

施設の取組みを外部に分かりやすく発信していくことが、今後の各種介護サービスの向上はもちろん、介護人材の確保、そして地域連携の推進において大切と感じています。その方法の一つとしてキャラクターの活用をご紹介させて頂きました。



多くの皆さまに愛されています♡



# 「その手が誰かの力になる」 介護の日ポスター作製



21世紀委員会委員長

若林 久美子

(特別養護老人ホーム平成の杜施設長)

昨年より、新型コロナウイルス感染症蔓延の為、「介護の日」の啓発活動で行ってきた駅前街頭キャンペーンができなくなってしまいました。そこで、昨年は特養委員会、広報委員会、21世紀委員会が共同でポスターを作製しました。介護の日の啓発と介護の仕事の魅力を伝えられるようなポスターを作り、県内の高校、福祉科のある専門学校、短大、大学、老協会員施設へ2枚ずつ送付致しました。また、駅前街頭キャンペーンを行っていた三島駅、静岡駅、浜松駅には、送付したポスターよりもさらに大きなポスターを3週間掲示しました。啓発効果がどのくらいあったかわかりませんが、会員施設の皆様からはたくさんのお褒めの言葉を頂きました。今年もまだ駅前街頭キャンペーンは無理じゃないかとの声から、再びポスターを作製することになりました。介護の現場を感じて頂くために「ケアフォト募集」ということで、今年は会員施設の皆

さんから写真とコメントを寄せて頂く事にしました。広報委員会の協力もあり、県老協のホームページでも宣伝して下さったおかげで、38施設の皆さんが応募して下さいました。その中から東部、中部、西部と1枚ずつ写真を選ぶ予定でしたが、とても素敵な写真が多く、3枚にしぼることができませんでした。皆で悩みに悩んだ末、今年は10枚の写真を上手に組み合わせました。また、応募頂いた写真やコメントを全て、QRコードから「フォトムービー」としてご覧頂けるようにも致しました。

21世紀委員の皆さんの若い力はすごいです。写真を選ぶにしてもオンラインで意見を交わし、印刷屋さんに出す前のデザインのたたき台を作り、LINEでデザインを送ってみんなの意見を集めて、QRコードやフォトムービーも、あっという間に作ってしまって、本当に心強いパワーがあります！また、現場の声だからこそ、素晴らしいキャッチフレーズも決まりました。介護現場の温かさや、大変だけど楽しくてやめられない！介護の仕事って良いですよ～という、介護の魅力を伝えられるポスターが出来上がりましたので、今年も掲示を皆さま宜しくお願い致します。また、各施設に届いていると思いますので、施設玄関等に1枚貼っていただき、もう1枚はぜひ、地域の皆さんの目に付くところへ貼っていただけますよう、ぜひぜひ、お願い申し上げます。昨年、私はよく行くコンビニに貼って欲しい、とお願いに行きました。そうすると、店長さんが「あ～介護のポスターね、へえ～、介護の仕事も大変だよ～」と受け取ってくれました。数日して、ポスターが貼ってくれてあったのを見て、とても嬉しかったです。



〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号 静岡県総合社会福祉会館内静岡県老人福祉施設協議会 TEL054-653-2311 FAX054-653-2312

介護の日ポスター



フォトムービーQRコード



# 新人職員紹介

各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手  
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか  
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

## 天 間 荘

（富士市）

- ① 加中里菜（介護職）
- ② 前の会社の同期と久々に泊まりがけで遊んだこと
- ③ 山田涼介
- ④ みなとみらいに住んで景色を見ながらお酒を飲んで一人で悠々自適に暮らす
- ⑤ 利用者、職員共に居心地の良い施設にしていきたい
- ⑥ 未経験でも安心して働くことができる環境が整っている施設であるというリクレーターの勧め



## 平成の杜

（小山町）

- ① 高橋めぐみ（介護職員）
- ② 結婚しました！思い切って家を注文住宅で買ったこと。
- ③ 星野 源
- ④ 家のローン返済、残りは貯金。
- ⑤ 利用者と職員の笑顔が溢れる施設にしていきたいです。
- ⑥ 求人票に長く勤めている職員が多いと書いてあったことから、私は人見知りでなかなか環境に馴染めない性格なので安心して長く働けるかなと感じました。



## りんどう

（静岡市葵区）

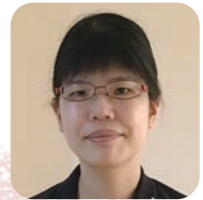
- ① 海野百乃（介護福祉士）
- ② 欲しかった服を買えたこと。
- ③ Six TONES
- ④ 欲しいものを買まくる。親にも渡す。
- ⑤ 利用者様の生活の中での楽しみを日常生活で作り、日々実行していける施設。
- ⑥ 実習に来た時から先輩方のアドバイスが多く、成長できる環境だと思ったから。



## きらら藤枝

（藤枝市）

- ① 大橋真子（介護職）
- ② 好きな服を買ったこと
- ③ 池江璃花子
- ④ 貯金
- ⑤ 利用者さんにとって過ごしやすく安心できる施設
- ⑥ 職場の雰囲気良かったこと。HPで理念を見て「お客様の立場に立って」に共感し、ここで仕事をしたいと思った。



## 白 寿 園

（磐田市）

- ① 松下寛紀（介護職）
- ② 6月に大型二輪免許をとったこと。バイクで出掛けるのが楽しみです。
- ③ 女優の浜辺美波さんと広瀬すずさん
- ④ 世界一周旅行に行きたいです。まずは、ハワイへ。そのあとは、宇宙旅行にも行ってみたいです。
- ⑤ 皆が仲良くコミュニケーションがとれるような明るい職場にしていきたいです。
- ⑥ 曾祖母へ介護しに来てくれていた、訪問介護員さんの優しく力強い姿に惹かれ、介護職を選びました。白寿園は、保育園が施設内にあり、園児とご入所者様の和やかな雰囲気がよかったため、決めました。



## おおすか苑

（掛川市）

- ① 黒田萌佳（介護職員）
- ② 推しのタレントのレギュラーTV出演が決まったこと
- ③ 向井康二（Snow Man）
- ④ 実家をリフォームする
- ⑤ 利用者様が毎日笑顔で楽しく過ごせる施設にしたいです。
- ⑥ 見学に来た際、施設全体の雰囲気がとても良いと感じたので決めました。



どうぞよろしくお願ひします

## 要望活動（静岡県、静岡市、浜松市へ要望書を提出）

9月7日に、石川相談役、種岡会長、前田副会長が県庁を訪問して、石田健康福祉部長に要望書を提出しました。

また、9月22日には、種岡会長と中部支部の皆さんが静岡市役所を訪問して杉山保健福祉長寿局長に、9月24日には、種岡会長と西部支部の皆さんが浜松市役所を訪問して山下健康福祉部長に、それぞれ要望書を提出しました。

要望内容は、新型コロナウイルス感染症対策や介護人材の確保・養成・定着、福祉施設でのデジタル化の推進等です。

★要望書は老施協ホームページのピックアップコーナーに掲載しています。



石田 県健康福祉部長訪問



杉山 静岡市保健福祉長寿局長訪問



山下 浜松市健康福祉部長訪問

## 令和3年度老施協活動報告（令和3年7月1日～令和3年10月30日）

### 【老施協】

★8月26日 第2回理事会

【協議・報告事項】委員会委員の補欠の選任、会長表彰受賞者の決定、防災訓練の実施案、介護の日啓発活動、感染症発生施設応援体制構築事業等

★8月26日 そのだ修光参議院議員とのオンラインミーティング

★8月27日 公明党県本部オンラインヒアリング

※新型コロナウイルス感染症対策

7月15日 第1回感染症対策検討会議

7月15日 第1回感染症対策研修会（クーボール会館・リモート併用）

9月2日 第2回感染症対策研修会（リモート）

10月5日 第2回感染症対策検討会議

10月5日 自民党介護議連との意見交換会

### 【企画経営委員会】

★7月21日 第2回委員会

要望活動、養成施設との懇談会等

### 【広報委員会】

★7月16日 第2回委員会（リモート）

『しず老施協』第62号の企画、老施協ホームページ

### 【研修委員会】

★7月29日 接遇マナー研修（リモート）

★8月24日 第3回委員会

人材育成研修、施設長研修等

★10月6日 第4回委員会

人材育成研修、施設長研修等

### 【21世紀委員会】

★7月9日 第3回委員会（リモート）

介護の日PRポスター、学生セミナー、関ブロカントリーミーティング

★8月12日 第4回委員会（リモート）

「介護の日ポスター」選出及び編集、学生セミナー、関ブロカントリーミーティング

### 【特養委員会】

★7月1日～8月31日 待機・入所状況調査アンケート配布・集計

★10月12日 第3回委員会

待機・入所状況調査報告書について  
介護報酬改正に伴う加算取得状況調査について

## 編集後記

前施設長の後を受け、老施協広報委員会委員を務めさせていただくこととなりました。発行にあたりご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

私事ではございますが、4月から2度目の静岡市への転勤となりました。1度目の転勤は15年前ですが、当時の出勤時の新幹線は、座れるかどうか、その時次第で、立ったまま静岡駅まで来たこともありました。

コロナ禍の今では、座れないことはなく、お隣さんがいない形で乗車できます。

ゴールデンウィーク、お盆など世間が長期休暇中の帰宅時は1車両独り占めの状態の事もありました。早く、また座れないかもしれない新幹線になれば良いと思っています。

（久野宗孝）